

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	市民活動施設運営事業(西区)			シート番号	A 一般事務事業 214-11
担当部署名	西区役所	局	—	部	自治推進課 課 評価責任者(課長名) 阪口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	市民の自主的な活動・協働の推進	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市西区区民プラザ管理運営要領			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	区民に開かれた区役所づくりを推進すると共に、区域における非営利の公益的な市民活動を促進するための拠点が必要であったことから整備した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民による自発的で公益性及び非営利性を有する活動を行う団体、又は行おうとする団体。				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	NPO法人や任意団体等への支援を通じて市内における市民活動の裾野を広げ、法人・組織としての力量の向上に寄与すると共に、全庁的に市民協働を進めることにより、真の市民自治を実現する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市民活動を行う団体が打ち合わせなどに利用できるミーティングスペース、印刷機・紙折り機等を備えた作業スペースを設置し、「活動を支援する場の提供」を行っている。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 社会福祉法人 堺市社会福祉協議会					

Ⅲ. 投入量

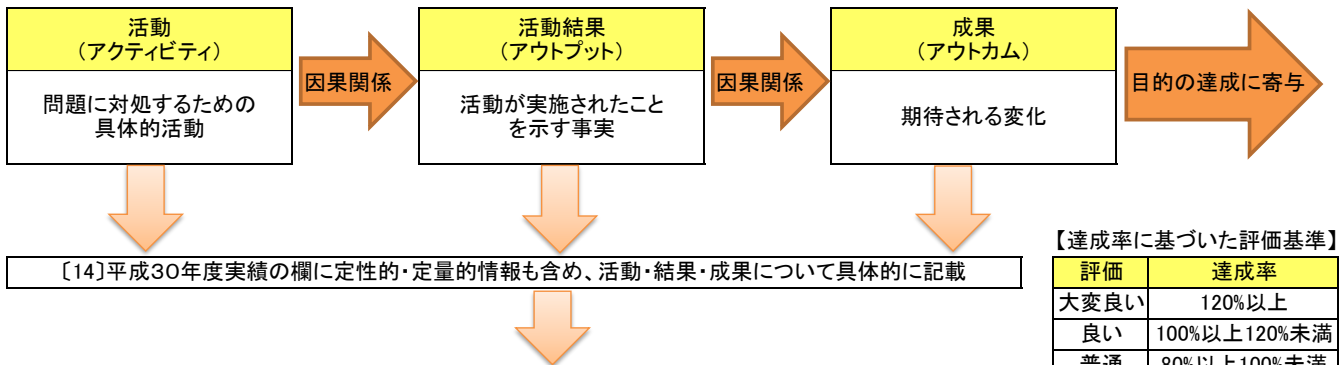
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	2,253	2,277	2,321	2,339	
	主な事業費内訳	委託料	千円	2,107	2,138	2,230	2,291
		役務費	千円	104	97	41	0
		需用費・使用料及び賃借料他	千円	42	42	50	48
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(資料等複写徴収金)	千円	151	129	126	156
	一般財源	千円	2,102	2,148	2,195	2,183	
	12 人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,893	3,917	3,961	3,959		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	市民活動施設運営事業(西区)	シート番号	214-11
--------------	----------------	--------------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>平成26年度をピークに近年、区民プラザの来訪者が減少傾向であったが、昨年度は29年度比較して200人の増加に転じた。新規利用団体の登録数は、5件と例年と比較して横ばいであったため、とりわけリピーターの利用が増加したと考えるが、印刷機等の備品管理を適切に行い、故障等により備品が使用できなかった日を長期化しないことで、円滑な施設利用環境を維持できたのが要因と考えられる。結果、区内における市民活動の裾野を広げ、活動団体の支援につながった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		区民プラザ来訪者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100
				実績値	796	738	944	
				達成率	72%	67%	86%	
	評価	少し悪い		少し悪い	普通			
	算出方法・設定根拠など		平成28年度～令和2年度で来訪者5,500人を目標(単年度で1,100人)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		資料等複写徴収金	千円	目標値	110	137	150	156
				実績値	151	129	126	
				達成率	137%	94%	84%	
	評価	大変良い		普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		過去実績から算出					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	<p>平成27年度に区民プラザ内の印刷機の更新を行ったが、近年では修繕機会も増加している。印刷機の使用は区民プラザの利用頻度や収入に直接影響があるため、故障の状態を長期化せずに早急に対応したことが、来訪者の減少を最小限に食い止め、目標達成の要因となったと考えられる。利用頻度が減少していた情報閲覧用パソコンを廃止したが、来訪者数に大きな影響がなかったため、今後も利用者のニーズを踏まえてサービスを見直しながら、公金の適正な投入を図りたい。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。